

WG2 技術開発プロジェクトWG

リーダー：愛知工業大学 客員教授 板谷 義紀
サブリーダー：愛知工業大学客員教授 田川 智彦
名古屋大学准教授 小林 敬幸

概要

カーボンニュートラルに資する技術・システムを取り上げて、情報収集、予備的調査、課題抽出、開発計画策定、プロジェクト体制等を検討するための研究会を開催し、国や県等の産学連携プロジェクトへの応募を目指す。現在は、（公財）科学技術交流財団の研究会事業にて、「ブルー燃料の生産および利用に関する研究会」が進行中であり、モデルケースとして本成果に基づくポスト研究会を当該WGで引継ぎ、社会実装に向けたロードマップ策定とそのプロジェクト化を推進する。同様にその他の課題についてもメンバーのニーズやシーズを連携して、会員および会員候補企業・研究者を新たに追加したメンバーを募り、国や県の産学連携プロジェクト化や技術開発の基盤・実用化研究支援を図る。

ミッション

会員企業を始めとするカーボンニュートラルに資する技術・システム開発の促進とその社会実装化を目指して、メンバーのニーズ・シーズの連携や新たなシーズ発掘のために必要な情報収集、テーマの掘り下げ、技術開発研究テーマ設定とそのフォーメーション等について検討して、国や県の産学連携プロジェクトへ繋げ、技術開発の基盤・実用化研究の推進を支援する。

WG2 技術開発プロジェクトWG

リーダー : 愛知工業大学 客員教授 板谷 義紀
サブリーダー : 愛知工業大学客員教授 田川 智彦
名古屋大学准教授 小林 敬幸

活動の方向性

ゼロカーボンの実現のためには、それぞれの状況に応じたカーボンニュートラル技術・システムを構築することが不可欠となる。本WGでは、以下の活動を順次推進して行く予定。1) 現在進行中の「ブルー燃料の生産および利用に関する研究会」のポスト研究会設置、2) ポスト研究会の産学連携プロジェクト化、3) 研究動向の情報収集、会員企業のニーズに基づく課題抽出、4) テーマ設定、研究体制の検討、5) 産学連携プロジェクト化推進、6) プロジェクト化後の研究推進支援。今後必要に応じてブラッシュアップを行っていく予定。

参加メンバー

前年度までのオープンイノベーションWG（リーダー：小橋先生）および「ブルー燃料の生産および利用に関する研究会」のメンバーに、本WGへの参加意向を確認するとともに新たなメンバーを募る。特にカーボンニュートラルに関連したシーズやニーズを持ち、社会実装をお考えの会員の参加を期待している。シーズを有する会員・その他のオブザーバーまたはメンバーとしての参加要請も検討している。

問合せ先・参加申込先 : 板谷 義紀 yitaya@aitech.ac.jp

2024年度の活動計画

1. WGメンバーの募集、WGの体制構築

- 総会におけるプレゼンテーションやHP等により参加メンバーを募るとともに、WG会議を開催し、WGの体制構築を進め、円滑かつ効率的なWGの運営を図る。また、研究会活動の取組過程で構想された技術開発プロジェクトのニーズまたはシーズを有する団体や研究者・技術者にはメンバーへの参加を要請する。

2. 具体的な取組の検討

- 今後WG会議を開催し、具体的な取組について検討する。

3. 取組の実施

- WGメンバーの募集、メンバーへの参加要請。
- WG会議開催、WG体制構築、取組・活動計画の方向性についての検討。
- 現在進行中の「ブルー燃料の生産および利用に関する研究会」の成果に基づくプロジェクト申請。
- 上記のポスト研究会のテーマ設定。メンバーへの参加要請。
- 会員企業・研究者からのニーズ・シーズおよび研究テーマの募集
- 上記募集研究テーマの検討と設定、メンバー募集、WGとしての取り組み。

科学技術交流財団研究会
「ブルー燃料の生産および利用に関する研究会」

活動概要

- 活動期間 初年度：令和5年7月～令和6年2月（中間評価により2年度継続審査）
2年度：令和6年4月～令和7年2月
- 座長 岐阜大学／愛知工業大学 板谷 義紀
- 事務局 科学技術交流財団研究会事務局
- カーボンニュートラル社会におけるブルー燃料の定義と位置付け
- CN社会に向けて当該地域（愛知県等）における，燃料（モビリティと熱源用含む）の需要規模及びその実現に必要な製造・利用技術課題の抽出
- 2年間の活動期間に，講演会，交流会，討論会を開催することにより，上記に関連した活動（技術開発動向に関する情報収集・情報交換，技術的課題抽出の実施）
- 当該研究会のゴールとして，政府系または自治体が募集するPJへの応募・研究開発実施へ繋げ，ブルー燃料普及に向けた成果を挙げることを目的

科学技術交流財団研究会
「ブルー燃料の生産および利用に関する研究会」活動状況

回数	時期	開催内容（テーマ）等	備考
第1回	8月8日	本研究会の目標設定，今後の活動方針の確認，メンバー自己紹介と意見交換	
第2回	10月18日	ブルー燃料関連研究開発動向に関する講演と意見交換	
第3回	1月29日	ブルー燃料とカーボンオフセットによるCNに向けた燃料製造，サプライチェーンに関する意見交換，プロジェクト化重点課題の検討	
	2月	令和5年度研究会報告書提出	
第4回	5月21日	特殊反応場を活用する地域分散型小型CCU技術の展開に関するシーズ，意見交換，プロジェクト化重点課題の検討	

メンバー募集中：<https://www.astf.or.jp/post/ken-topic5>

ブルー燃料製造・利用システムの位置付けと課題検討

